

2019 年度井川町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、西地区の平野部と東地区の山間部からなる地形であり、耕地面積の大部分を水田が占め、農業者の多くが水稻を中心とした農業を営んでいる。また、主要な地域で基盤整備が進められており、土地利用型農業の生産性向上等をより一層進めていく必要がある。

一方、農家の高齢化が進んでおり農家戸数の減少がみられる。また、大豆については、雑草、連作障害等による単収低下、年次による変動が顕著となっている。

2 作物ごとの取組方針等

本町の水田について、適地適作を基本に、人・農地プランの中心となる経営者等への農地の集約化を推進し、また産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

生産の目安に沿った作付面積の確保を努めるとともに、JA等集荷業者と連携し、需要ニーズに対応した米作りを推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

地域の振興作物としない。

イ 米粉用米

地域の振興作物としない。

ウ 新市場開拓用米

主食用米の更なる新市場開拓に向け、産地交付金県推進枠を活用して作付けの取組を推進する。

エ WCS 用稲

地域の振興作物としない。

オ 加工用米

JA等集荷業者と連携し、需要に応じた生産数量の確保を目指す。

カ 備蓄米

政府買入に係る入札数量に応じて作物推進を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については地域の振興作物としない。

大豆については、生産性の高い優良品種への転換、湿害を回避するための排水対策の実施、機械の導入による省力化・機械化体系の構築、団地化など産地交付金を最大限活用した取組の推進により、作付面積を拡大する。また、出荷数量に応じた町単独の助成を実施し、なお一層の拡大を目指す。

飼料作物については、耕畜連携を図り、需要等の把握に努めながら、生産数量の確保を目指す。

(4) そば、なたね

そば、なたねについては、需要に応じた生産数量の確保を目指す。また、排水対策の指導等を強化し品質の良いそば、なたねの安定的な供給を目指す。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

枝豆、カボチャ、加工用トマト、ナス、ねぎ、キャベツについては、市場等から需要があり、農家の栽培技術も高いため振興作物として位置付け、集荷業者との連携や町独自の販路開拓を図る。また、産地交付金の活用により作付面積の拡大を図り、稲作での転作によらない枠組みとなるよう目指す。なお、枝豆とかぼちゃ、ねぎ、キャベツについては、出荷数量に応じた町単独の助成を実施し、なお一層の拡大を目指す。

ほうれんそう、レタス、小豆、ウド、みょうが、ふきについては、昨今本町で取組が広がりつつある作物であり、需要等の把握に努め、集荷業者と連携しながら、特に中山間地域での作付けを推進し、生産数量の確保を目指すとともに、振興作物に続く特産品として産地交付金を活用し作付面積の拡大を図る。なお、みょうがについては、出荷数量に応じた町単独の助成を実施し、なお一層の拡大を目指す。

また、県の重点ブランド品目である枝豆、ねぎやトマトについては、県推進枠を活用した生産性向上の取組により、生産の拡大を図る。

(6) 畑地化の推進

主食用米の需要が年々減少する中、需要に応じた米の生産・販売を進めるとともに野菜等の高収益な畑作物の本作化を進めるため、また、単位面積当たりの生産性を高めていくためにも、畑地化による排水改善や作業効率の向上を進めていく。

3 作物ごとの作付予定面積

	前年度の 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	2020年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	648.9	647.5	642.0
飼料用米	0.0	0.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	1.7	0.0	5.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	134.3	134.3	136.3
備蓄米	153.8	153.8	153.8
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	26.9	27.9	28.2
飼料作物	10.0	10.1	10.1
そば	0.2	0.2	0.5
なたね	0.0	0.1	0.1
その他地域振興作物	65.4	68.4	70.6
枝豆	15.0	16.8	17.0
カボチャ	7.8	7.5	7.5
加工用トマト	0.4	0.3	0.3
ナス	0.6	0.6	0.7
ねぎ	1.8	3.2	3.2
キャベツ	0.3	0.3	0.3
ほうれんそう	0.3	0.4	0.5
レタス	0.1	0.2	0.3
小豆	0.5	0.6	0.6
ウド	1.0	1.0	1.0
みょうが	0.4	0.5	0.6
ふき	1.6	1.7	1.8
その他野菜	33.8	33.5	35.0
花き・花木	0.2	0.2	0.2
果樹	1.6	1.6	1.6

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度(実績)	目標値
1	枝豆、カボチャ、加工用トマト、ナス、ねぎ、キャベツ（基幹作物）	振興作物①助成	作付面積	(2018年度) 25.9 ha	(2020年度) 29.0 ha
2	大豆（基幹作物）	大豆団地化加算助成	3ha以上の団地化面積 10a当たり収穫量	(2018年度) 19.0 ha 124kg/10a	(2020年度) 20.0 ha 140kg/10a
3	大豆（基幹作物）	大豆暗渠施工加算	暗渠施工面積 10a当たり収穫量	(2018年度) 17.2 ha 124kg/10a	(2019年度) 19.4 ha 135kg/10a
4	ほうれんそう、レタス、小豆、ウド、みょうが、ふき（基幹作物）	振興作物②助成	作付面積	(2018年度) 3.9 ha	(2020年度) 4.8 ha
5	そば、なたね（基幹作物）	そば・なたね作付の取組支援	作付面積	(2018年度) 0.2 ha	(2020年度) 0.6 ha
6	飼料作物、枝豆、ナス、ねぎ（基幹作物）	高収益作物等の面積拡大への助成	作付面積 交付対象面積	(2018年度) 27.4 ha 0 ha	(2020年度) 31.0 ha 4.3 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり